



PRESS RELEASE (2007/09/21)

九州大学 『東アジア環境問題プロジェクト』
～九州大学 全学文理融合・国際産学官連携プロジェクト～

概要

九州大学は2011年に迎える百周年事業の一環として、『東アジア環境問題』に全学で取り組むこととしました。すなわち九州大学内の環境研究に取り組む優れた研究者を全学より集め、テーマごとに複数のチームを結成して、中国や韓国等東アジアの主要大学・研究機関、および日本の企業等と環境問題に関する共同研究などの国際間の産学官連携を進めるプロジェクトを開始いたしました。

東アジアの『学』のカウンターパートとして、中国は大学間協力協定を締結している「**同済大学**」「**上海交通大学**」と本プロジェクトについて共同研究や情報交換、人材交流、あるいはそのための組織作りなどの協力を既に合意しています。また、「**清華大学**」、「**浙江大学**」、「**西安建築科技大学**」、「**中国科学院**」、「**重慶大学**」、韓国の「**ソウル大学**」とはこれまで環境研究について共同研究の実績があり、今後の研究者間での協力を合意しております。

さらに、『産』としては、TOTO株式会社などからご支援・ご協力を受ける予定であり、今後多くの企業にご協力を呼びかける予定です。『官』についてもNEDOやJSTなどの公募型資金の獲得を目指しています。

このたび、九州大学の本取り組みをリリースすることにより、九州大学が東アジアの一員として全学で取り組む「国際産学官連携プロジェクト」に、より多くの企業の賛同と支援を求めます。

背景

- 急速な中国・韓国の経済発展は東アジアおよび日本にとっても大きな利益をもたらしていますが、その反面、排出ガスによる大気汚染、廃棄物による河川・土壌の汚染、農地の拡大による国土の砂漠化、ダム建設に伴う河川・海洋の環境変化などの環境汚染が急速かつ大規模に進んでいます。環境汚染は、中国・日本・韓国ひいては世界中の国々に影響を与えるものであり、経済発展の恩恵とまさに表裏一体です。
- 九州大学は中国大陸にもっとも近い研究重点大学であり、環境研究においても優れた研究者を多数擁しています。さらにアジア学長会議を主催し、アジアの大学ネットワーク形成にも十分な実績を挙げています。そこで、これまで研究者個人の環境研究を九州大学として組織化し、さらに大きく発展させるために、九州大学『東アジア環境問題チーム』を結成しました。

内容

参照：プレゼン資料「東アジア環境問題プロジェクト」

「九大内で組織した以下の約30人、5研究グループと中国、韓国の複数の主要大学や研究機関との、環境問題に関する様々な協力（共同研究、情報交換、人材交流、組織立ち上げ等）を推進する。日本の企業の参加も広く呼びかける。」

- <都市環境グループ> <大気汚染グループ> <砂漠化・水問題グループ>
<海洋・河川汚染グループ> <社会システムグループ>

効果

本プロジェクトは、九州大学が個別の研究シーズを組織的にまとめ、東アジアの一員として取り組む九州大学の独自プロジェクトです。このプロジェクトを推進することで、東アジアひいては全世界の環境問題の解決につながるものと考えます。

今後の展開

- 本プロジェクト遂行のための資金確保一産、官からの支援と協力要請
- 東アジアの連携機関との共同研究展開

【お問い合わせ】 知的財産本部（国際産学官連携センター）
本部長 小寺山 亘、センター長 谷川 徹
担当 篠崎 真美
電話：092-642-4431
FAX：092-642-7128
E-Mail：plan@imaq.kyushu-u.ac.jp